

広く市民の皆さまに、地域包括ケアシステムについて学んでいただくため、イオンモール名古屋茶屋にて、『地域包括ケアシステム市民講座』、『はいかい高齢者おかえり支援事業の模擬訓練』を開催しました。併せて『港区在宅医療・介護 市民向け講演会』も開催しました。

当日は、港区介護保険事業者連絡会主催の『第13回みなと介護フェア』も同時開催され、市民講座には300人近くのたくさんの方に参加いただきました。

【日時】 11月20日（日）

【場所】 イオンモール名古屋茶屋 1F ガーデンコート

概 要

①地域包括ケアシステム市民講座

今年は「みんなで取り組もう介護予防」というテーマで、スペシャルゲストに SAKAEGIRLS をお招きして、自宅でできる健康体操を行いました。健康体操はタオルを使った運動で、普段から意識して健康づくりを行うことが介護予防につながり、いつまでも健康でいられ住み慣れた地域で暮らしていくために必要であることを、SAKAEGIRLS とのトークを通じて市民のみなさまと勉強させていただきました。SAKAEGIRLS と一緒に健康体操をしていただいた後のミニライブでは、タオルを使って楽しく体を動かしながら、盛り上がりいただきました。



②はいかい高齢者おかえり支援事業 模擬訓練

認知症の方の「はいかい」による事故を防止するため、地域の方の協力を得て、「はいかい」されている方を早期に発見する取り組みである「はいかい高齢者おかえり支援事業」の模擬訓練を SAKAEGIRLS にも参加していただき、行いました。ここでも、SAKAEGIRLS とのトークを通じて認知症に関する知識を市民のみなさまと勉強させていただきました。また、実際にクイズも交えた高齢者の搜索訓練を行いました。搜索訓練には44人の方に参加いただきました。

③港区在宅医療・介護 市民向け講演会

南区の笠寺病院 片桐先生に地域包括ケアや今後の在宅医療についてご講演いただきました。大変分かりやすい説明で、参加された方も、今後の自分に関わる話ということで、真剣に聞いていらっしゃいました。



④介護フェアも同時開催

「ふれあう介護と防災」をテーマにいざという時に役に立つ防災時の介護に関する知識を体験できるコーナーや、介護に関する相談コーナー、車いす体験コーナーなどが行われました。

